

グループホーム住ま居る 運営推進会議 議事録

令和6年11月21日 14:00～

場所 グループホーム住ま居るにて

- 出席者 ・ご家族様 1名
・多治見市役所 高齢福祉課 渡辺様
・笠原地域包括支援センター 羽根田様
・住ま居る 井下、村松、三戸（記録）

(1) 現状についてのご報告（村松） 11月18日現在

- ・入居総数 18名（男性7名 女性11名） ・平均年齢90歳
 - ・平均介護度 3 （介護1：4 介護2：4 介護3：4 介護4：4 介護5：2）
- 前回の報告以降、退所、入所された方それぞれ2名みえます。

・1名はコロナに感染され、ご本人様の内科的疾患、既往歴からご家族様と相談して救急搬送させていただきました。病院で治療を受けられ徐々に回復されてみえるが、退院後はより医療面での対応が必要と考えられるため「住ま居るメディカ」に移られることとなりました。住ま居るグループとして引き続きより良い援助に努めていきます。

・もう1名は、入浴の面においてより安全な入浴の提供という観点、またより安全で適切な食事摂取をとる観点から、ご家族と相談のうえ「住ま居るメディカ」に移られました

退所された方は、有料老人ホーム住ま居るメディカに移られました。今後もその方にとってより良いケア、生活、環境の質を考えながら援助を行っていききたいと思えます。

・入院された方が1名みえます。退院され施設に戻って見えています。

10月にスタッフ1名にコロナ感染が確認され、その後利用者様5名、スタッフ3名の感染が確認されました。利用者様1名は入院され、4名の方は居室対応に努めました。利用者様個別での対応と施設全体の感染拡大防止対応を実施しました。

<9月～11月>

施設内で、健康面の変化に留意しながら過ごしていただきました。

10月に予定していた作品展の見学は中止しましたが、引き続き作品作りや、日常の体操、レク活動はできる範囲で継続しました。

9月の敬老会以降、コロナの対応もあり、大きな行事が実施できていません。日頃のレクは運動やストレッチ、歌唱、口腔体操など、習慣として継続しながら、お身体の機能低下を防いだり、脳の活性化を図るよう努めています。

新しいスタッフが入りました。その中には未経験者もいます。日常業務のひとつ一つ、また認知症の方への理解、関わり方、介護技術の習得など、学ぶことはたくさんありますが、先輩職員とともに住ま居るで大事にしている「心温まる介護の提供」を根本に、日々の経験を通して考え、ケアに活かしていけ

るよう、スタッフのチーム力を高めながら、利用者様と向き合っていきたいと考えています。

(2) 事故報告について

(発生内容)

10月6日 4時30分 センサーが鳴り訪室すると自己にてベッドに戻られようとしてみえた。スタッフが居室の扉を閉めた後、物音がしたので訪室すると、自己にてベッドに座ろうとされ床に尻もちをつかれる。腰部の痛みを確認し様子観察。その後、歩行は可能でいつものテーブルまで移動され座って過ごされてみえたので、経過観察を行う。

(経過)

問看護ステーションに連絡し、身体状況を確認させていただくとともにご家族様に状況報告を行いました。翌日、腰痛が悪化され正翔会クリニックに連絡し往診あり。レントゲン結果、腰椎の圧迫骨折の診断。お薬が処方され対応させていただきました。

(その後)

ご自身で動かれる為、安静を保つことが難しい状況。ご本人の意向に寄り添いつつ、安全に移動していただくよう付き添い対応を行いました。

(対策) 目の不自由さ、視力や視野の障害がある方です。物が見え難いことで様々な事故にリスクがあることを念頭に置いて対応する。移動動作はご自身で出来る方でも、移乗動作は最後まで見届ける。現在はリビングに出られ、トイレにも行かれ過ごしてみえます。

(3) 健康面について 井下より

本日、月に2回の訪問診療が終了し、インフルエンザとコロナウィルスの予防接種が行われました。現在のところ体調に変化のある方はお見えになりません。

また、現在体調不良にて点滴をされているご利用者様が1名いらっしゃいます。訪問看護ステーションの看護師にて、点滴管理、状態観察の介入を行っていただいています。グループホームでも日々の状態観察を行い連携を図っています。

(4) 各委員会より

・感染対策委員会

コロナウィルスの集団感染について、感染判明後、臨時感染予防対策委員会を行いました。コロナ対応が初めての新人職員に対し、早急にガウンテクニックを含む感染予防行動を個別指導しました。また今回の対策の改善点を洗い出し、職員一人一人が意識できるよう、次に備えて書面にて伝達しました。

・身体拘束廃止 ・虐待防止委員会

職員同士で声を掛け合い、時に指導しあえる職場の環境づくりを目指しています。ついフランクになりがちな言葉遣いについて、皆で意識していくよう指導しています。

・災害対策委員会

9月に災害地震訓練を実施。物品のある場所から動きまできを確認しました。

12月に消防訓練を実施予定です。

(5) スライドより

(6) 参加者様より

- ・ご家族様：議事録を見て、（お父様と）話すこと以外のことが知れて面白いと思った。ここのグループホームは好評と聞いている。7月の議事録に「男性はおだてれば動く」と書いてあるが文章に残して大丈夫かな？と思う。議事録で見ると、来て話を聞くことが一番と思い参加している。8/10の朝8時に採血をしているなんてあり得ないけれど、薬のことも、信用している。自分の力を維持するため、日常生活がどこまでできているかわからないが任せている。窓から見える畑にスイカが2つなっているね、と話した。
- ・笠原包括 羽根田様：コロナ、インフルエンザ以外でも体調管理がむづかしい時期です。引き続きよろしくをお願いします。
- ・市役所 渡辺様：新人スタッフさんに、しっかりといろいろ教えていただいて、今後の戦力にしていきたいください。

(7) 井下より

- ・11月から食事会社を変更しています。以前の会社は発注が複雑でスタッフの負担が大きかった。またコスト管理の面、味も以前よりおいしいというところでも変更しました。ご利用者様からいただく価格に変更はありません。
- ・食材料費の値上げは続いているが、当面は値上げしない方向でいますが、今後可能性としてはあり、その際は根拠を提示しながらお願いさせていただきます。
- ・レクリエーションも大事ですが、日常の生活に重きをおくことは大事です。誰が何ができるかが大事で、女性のご利用者様だと家事をお手伝いしていただいたり、今一度踏み込んで探していきたい。レクは楽しそうに見えます。社会性、達成感などの本質が詰まっているか、きちんと見極めたうえで大事にしていきたいと考えています。

次回の運営推進会議は1月を予定しています。